

臨床腫瘍科

三嶋 秀行

臨床腫瘍科は 2011 年 4 月に新たに開設されました。臨床腫瘍科は、薬物療法を担当する腫瘍内科、手術と化学療法を集学的に担当する腫瘍外科、緩和ケアを担当する緩和ケア内科で構成されています。当院は、地域がん診療連携拠点病院として「がん対策基本法」に基づき、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療と緩和ケアを提供する役割を担っています。また、臨床試験や治験を積極的に行うことにより、先進的治療を導入することを目指しています。

外来化学療法室では、看護師、薬剤師、栄養士、MSW とともにチーム医療を実践して、安全で安心な化学療法を実践してきました。腫瘍内科・外科は院内 cancer board を運営し、薬物療法だけでなく、診療相談や原発不明癌などに対応してきました。将来的には診療内容を充実させて、最新のがん薬物療法を担当する診療科として発展させていく予定です。

緩和ケア内科は、現在入院中のがん患者さまに対するがんサポートチームとして活動している役割をさらに充実発展させ、科として独立することにより、緩和ケア教育研修だけでなく新たに緩和ケア外来を行ってきました。将来的には緩和ケア病棟の運営を行うことを目指しています。

いずれも 1 年目の新しい部署ですのでこれからにご期待下さい。皆様のご協力ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

【2011 年度研究発表業績】

A-0

Mishima H, Oba K, Sakamoto J, Muro K, Yoshino T, Hyodo I, Maehara Y . FOLFIRI plus Bevacizumab 5 mg/kg Versus 10 mg/kg as Second-line Therapy in Patients with Metastatic Colorectal Cancer Who Have Failed First-line Bevacizumab Plus Oxaliplatin-based Therapy: A Randomized Phase III Study (EAGLE Study) . Jpn J Clin Oncol 2012 ; 42 (2) : 134 - 138 (2012 年 2 月)

Yagi T, Ishikawa J, Aono N, Yamashita Y, Kusakabe S, Yoshinami T, Akazawa Y, Sakai D, Yamamoto S, Hamanaka Y, Masaie H, Sugimoto N, Yoshida H, Tomita Y, Imamura F. Epstein-Barr virus-associated post-transplant lymphoproliferative disorders after allogeneic peripheral blood stem cell transplantation for Hodgkin-like adult T-cell leukemia/lymphoma. Int J Hematol (2012) 95:214-216

Nakazuru S, Yoshio T, Ogawa Y, Yuguchi K, Hasegawa H, Sakakibara Y, Kodama Y, Uehira T, Mita E. Human immunodeficiency virus (HIV)-associated duodenal lymphoma. Endoscopy. 2011 Dec;43 Suppl 2 UCTN:E384-5. Epub 2012 Jan 24. (2011 年 12 月)

Sueyoshi Y, Yoshio T, Ito M, Suemura S, Araki M, Yoshioka C, Ota M, Ohta T, Hasegawa H, Tsumi K, Toyama T, Nakazuru S, Kuzushita N, Tsujie M, Miyamoto A, Nakamori S, Kodama Y, Mi ta E. A case of spontaneous splenic rupture during chemotherapy for B-cell chronic lymphoid leukemia. Clin J of Gastroenterology. 2012;5(1):42-46 (2012年1月)

A-2

青野奈々, 所昭宏, 吉内一浩 : 内分泌系腫瘍、原発不明腫瘍「精神腫瘍学」内富康介、小川朝生、P.287-290、医学書院、大阪、2011年10月

A-3

三嶋秀行, 辻仲利政, 池永雅一, 藤谷和正, 高見康二, 平尾素宏, 宮本敦史, 大宮英泰, 増田慎三, 安井昌義, 辻江正徳, 山村順, 水谷麻紀子, 中森正二 : 抗がん剤の有害事象とその対策 「外科治療[がん患者の周術期管理のすべて §4.術後のがん化学療法の実際]」 104 (6増刊) : P. 327(861) - 333(867) 、 2011年6月

三嶋秀行, 池永雅一, 安井昌義, 辻仲利政 : 第5章 消化器内科・外科 第3節「大腸癌」 「治療/診断技術のニーズとシーズ評価集」 2011年5月

三嶋秀行, 辻仲利政, 池永雅一, 藤谷和正, 高見康二, 平尾素宏, 宮本敦史, 大宮英泰, 増田慎三, 安井昌義, 辻江正徳, 山村順, 水谷麻紀子, 中森正二 : 抗がん剤の有害事象とその対策 「外科治療」 (増刊) : P. 327 - 333 、 2011年6月

三嶋秀行 四章 化学療法に関する検査 ②分子標的薬 「消化器外科 NURSING」 16 (8) 2011年8月

三嶋秀行, 池永雅一, 安井昌義 高齢者の大腸癌化学療法(FOLFOX, FOLFIRI療法)の忍容性と効果 「日本臨床」 69 (3) : P. 554 - 558 、 2011年4月

荒木学, 中水流正一, 伊藤麻里, 末村茂樹, 満田千晶, 末吉由佳, 大田真紀代, 太田高志, 長谷川裕子, 巽香織, 由雄敏之, 外山隆, 葛下典由, 三田英治 : S-1による二次治療が奏効した直腸癌合併切除不能胆嚢癌の1例「癌と化学療法」 38(11): 1857 -1859 2011、2011年11月

長谷川裕子, 藤谷和正, 平尾素宏, 中水流正一, 三田英治, 辻仲利政 : 進行食道癌に対する Nedap latin/Adriamycin/5-FUによる3剤併用療法の効果と効果発現に影響する因子の検討「癌と化学療法」 38(13): 2591 -2595 、 2011年12月

B-2

Satomi E, Yoshida T, Aono N, Kusuki S, Ueda J, Oike M, Kajihara K, Matsuyama K, Inoue A, Azechi M, Hirotsune H, Tsujinaka T. Restless legs syndrome in palliative care patients with cancer. 12th congress of European association for palliative care Lisbon, 2011年5月

Hasegawa H, Fujitani K, Hirao S, Nakazuru S, Mita E, Tsujinaka T.Effect of S-1 adjuvant chemotherapy on survival following recurrence and efficacy of first-line treatment in recurrent gastric cancer. 9th International Gastric Cancer Congress, Seoul, Korea, 2011年4月

B-3

三嶋秀行 : 「大腸(転移)」 。 第33回日本癌局所療法研究会、堺、2011年6月

里見絵理子、青野奈々、廣常秀人、長谷川裕子、三田英二、平尾素宏、藤谷和正、辻仲利政 : 胃癌診療における緩和ケアチーム介入～早期からの緩和ケアをめざして～。第84回日本胃癌学会総会シンポジウム5、大阪、2012年2月

B-4

木村剛、小河原光正、宮本智、安藤性實、笠井大介、上平朝子、白阪琢磨、大宮英泰、高見康二、小幡紗貴子、田中恒二、真能正幸 : クオンティフェロン TB-2G 測定結果の検討。第51回日本呼吸器学会学術講演会、東京、2011年4月

座長) 三嶋秀行 : 「UC」 。 第66回日本消化器外科学会総会、名古屋、2011年7月

高見康二、大宮英泰、小河原光正、真能正幸、徳永俊照、前田純、岡見次郎、東山聖彦、中森正二、辻仲利政、児玉憲 : 胸腺上皮性腫瘍手術例に対する胸腔内洗浄細胞診または心嚢液細胞診の胸膜播種再発予測に関する検討。第52回日本肺癌学会総会、大阪、2011年11月

大宮英泰、高見康二、辻仲利政、中森正二、小河原光正、栗山啓子、児玉良典、真能正幸 : 多形癌および腺癌の同時性多発肺癌の1例。第52回日本肺癌学会総会、大阪、2011年11月

安藤性實、小河原光正、木村剛、宮本智、大宮英泰、高見康二、安井昌義、平尾素宏、栗山啓子、田中英一、児玉良典、真能正幸 : 肺癌の病期診断時に撮影した FDG PET-CT で偶発的に大腸癌の合併が見つかった4例。第49回日本癌治療学会学術集会、名古屋、2011年10月

小河原光正、木村剛、安藤性實、宮本智、上平朝子、白阪琢磨 . 結核病巣を有しないエイズ治療ブロック拠点病院におけるクオンティフェロン TB-2G(QFT)測定結果の検討。第25回日本エイズ学会学術集会、東京、2011年11-12月

青野奈々、里見絵理子、吉田哲彦、上田純子、尾池真理、松山和代、井上敦介、楠木重範、廣常秀人、辻仲利政 : 緩和ケア臨床における Restless legs syndrome。第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

坂井大介、杉本直俊、青野奈々、吉波哲大、山本幸子、屋木敏也、今村文生 : ケナコルト胸腔内投与はがん性胸水の症状改善に対しての有効性が示唆される。第16回日本緩和医療学会学術大会、

札幌、2011年7月

吉波哲大、屋木敏也、青野奈々、山本幸子、坂井大介、杉本直俊、菰池佳史、今村文生：前治療歴のある転移性乳がん症例に対するゲムシタビンの忍容性について。第9回日本臨床腫瘍学会学術集会、横浜、2011年7月

青野奈々、里見絵理子、廣常秀人、長谷川裕子、山本和義、平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政：腹膜播種合併胃癌症例に対する症状緩和の実態。第84回日本胃癌学会総会、大阪、2012年2月

尾池真理、上田純子、梶原絹代、四方文子、道川綾加、松本洋美、徳永尚美、井上敦介、松山和代、里見絵理子、廣常秀人：がん疼痛治療におけるオピオイドに関するインシデントレポートの分析。第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

上田純子、石井和子、尾池真理、梶原絹代、四方文子、道川綾加、徳永尚美、里見絵理子：がん患者の症状に対するアロマセラピーの有効性の検討。第16回日本緩和医療学会学術大会、北海道、2011年7月

松山和代、里見絵理子、井上敦介、榎原克也、上田純子、尾池真理、梶原絹代、山内一恭、本田芳久、廣常秀人、小森勝也：がん性神経障害性疼痛に対するプレガバリンの使用経験。第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

井上敦介、里見絵理子、松山和代、上田純子、尾池真理、上野裕之、山内一恭、本田芳久、廣常秀人、辻仲利政、小森勝也：24時間持続型フェンタニル貼付剤の使用状況及び有用性に対する検討。第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

楠木重範、廣常秀人、上田純子、里見絵理子：小児患児・家族への介入～急性期総合病院緩和ケアチームの取り組み～。第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

上田純子、四方文子、尾池真理、梶原絹代、江波亜矢子、阿島美奈、宮本ひとみ、渡津千代子、里見絵理子、辻仲利政：がん患者カウンセリングにおける実態と今後の課題。第65回国立病院総合医学会 岡山、2011年10月

伊藤麻里、由雄敏之、坂根貞嗣、田村猛、田中絵里、荒木学、岩崎竜一朗、末村茂樹、湯口清徳、長谷川裕子、榊原祐子、外山隆、中水流正一、石田永、三田英治：癌性髄膜腫症の発症を契機に診断し、多発小腸・大腸転移を認めた胃癌の一例。第84回日本胃癌学会総会、大阪、2012年2月

長谷川裕子、藤谷和正、湯口清徳、榊原祐子、由雄敏之、外山隆、中水流正一、葛下典由、平尾素宏、三田英治、辻仲利政：一次治療に不応となった進行食道癌に対するドセタキセル療法の効果の検討。第49回日本癌治療学会学術集会、名古屋、2011年10月

長谷川裕子、藤谷和正、中水流正一、三田英治、辻仲利政：進行・再発胃癌における一次化療の効果が一次化療終了後の予後と二次化療の効果に及ぼす影響。第9回日本臨床腫瘍学会学術集会、東京、2011年7月

葛下典由、外山隆、中水流正一、由雄敏之、榊原祐子、長谷川裕子、湯口清徳、結城暢一、三田英治：B型急性肝炎の現況と治療介入について。第47回日本肝臓学会総会、東京、2011年6月

榊原祐子、由雄敏之、田中絵里、伊藤麻里、吉岡千晶、荒木学、末村茂樹、大田真紀代、湯口清徳、長谷川裕子、外山隆、中水流正一、葛下典由、三田英治：当院で経験したアメーバ性大腸炎20症例の臨床的検討。第97回日本消化器病学会、東京、2011年4月

B-5

三嶋秀行：XELOX+アバスタチンにおける個別化医療。大腸癌治療戦略カンファレンス～いかにアバスタチンを使い切るか～、京都、2011年9月

三嶋秀行：大腸がん化学療法2011年。川崎市東部 XELOX+Avastin 講演会、川崎、2011年9月
三嶋秀行：結腸癌補助療法の up to date。第48回神奈川大腸疾患研究会、横浜、2011年6月

三嶋秀行：消化器がん化学療法。第2回がん化学療法セミナー、東京、2011年6月

三嶋秀行：「XELOX+アバスタチン」の導入で標準治療は変わったのか？。Chugai Colorectal Cancer Symposium in Osaka、大阪、2011年6月

三嶋秀行：XELOX+アバスタチンにおける個別化医療。南予 XELOX 講演会、宇和島、2011年7月

三嶋秀行：XELOX+アバスタチン療法の個別化医療。第3回腫瘍セミナー、埼玉、2011年10月

三嶋秀行：大腸がん診療～個別化への道。佐賀大腸癌講演会、佐賀、2011年10月

三嶋秀行：下部消化器外科領域での癒着防止材の使用法と臨床ニーズ。癒着防止材の使用法と臨床ニーズ、東京、2011年10月

三嶋秀行：漢方薬の効果はプラセボか？。第49回日本癌治療学会学術集会ランチョンセミナー、名古屋、2011年10月

三嶋秀行：よくわかる大腸癌の補助化学療法。第4回富山県消化器癌化学療法研究会、富山、2011年11月

三嶋秀行：進行再発大腸癌の治療戦略。CRC Experts Meeting in Shimonoseki、下関、2011年11月

三嶋秀行：大腸がん診療～個別化への道～。第33回高知臨床外科学会イブニングセミナー、高知、2011年11月

三嶋秀行：大腸癌術後補助化学療法について。エルプラット術後補助化学療法検討会、大阪、2011年11月

三嶋秀行：切除不能進行再発大腸癌の治療戦略。第66回日本大腸肛門病学会学術集会イブニングセミナー、東京、2011年11月

三嶋秀行：進行再発大腸癌の治療戦略。CRC Experts Meeting in Kakogawa、加古川、2011年11月

三嶋秀行：大腸がん診療～個別化への道～。第47回地域医療症例検討会、西宮、2011年12月

三嶋秀行：本当はよく分からない大腸癌術後補助化学療法。中外 e セミナー、大阪、2011年12月

三嶋秀行：よくわかる大腸癌術後補助化学療法。三河地区消化器癌カンファレンス、豊橋、2012年1月

三嶋秀行：大腸がんと告げられたら。医療シンポジウム、大阪、2012年1月

三嶋秀行：大腸がん化学療法最前線～ASCO-GI2012とこれからの臨床試験～。第1回南大阪キヤンサーチームカンファレンス、堺、2012年2月

三嶋秀行：よくわかる大腸癌の術後補助化学療法。XELOX Kick off Meeting、大阪、2012年2月

三嶋秀行：癌化学療法:個別化の考え方。大阪化学療法懇話会2012、大阪、2012年2月

里見絵理子：がん性疼痛の評価と治療。大阪警察病院緩和ケア研修会、大阪、2011年4月

里見絵理子：症例で学ぶがん疼痛のマネジメント。 東成区医師会学術講演会、大阪、2011年6月

里見絵理子：オピオイドを開始するとき。平成23年度国立がん研究センター緩和ケア基本教育のための指導者研修会、船橋、2011年5月

里見絵理子：教育の実践 「双方向性講義の実践」 第16回日本緩和医療学会緩和ケア基本教育のための指導者研修会、大阪、2011年7月

里見絵理子：オピオイドを開始するとき。 淀川キリスト教病院緩和ケア研修会、大阪、2011年8月

里見絵理子：がん性疼痛の評価と治療。大手前病院緩和ケア研修会、大阪、2011年10月

里見絵理子：オピオイド抵抗性腹部腫瘍の一例。 大阪がん緩和ネット研究会、大阪、2011年11月

里見絵理子：症例から学ぶがん疼痛のマネジメント りんくう医療センター学術講演会 大阪 2011年12月

里見絵理子：全身倦怠感。大阪府緩和ケアフォローアップ研修会2011、大阪、2011年12月

里見絵理子：がん疼痛事例検討。第18回日本緩和医療学会緩和ケア基本教育のための指導者研修会、大阪、2011年12月

里見絵理子：神経障害性疼痛の薬物治療～プレガバリンを中心に～。東成区医師会学術講演会、大阪、2012年1月

里見絵理子：緩和医療における吐き気のマネジメント。 第12回大阪緩和医療フォーラム、大阪、2012年2月

青野奈々 HIV感染症に合併した原発不明癌の一例 第4回大阪緩和ケア連携カンファレンス、大阪、2011年11月

里見絵理子：倦怠感。がんサポートチームセミナー、大阪、2011年10月

里見絵理子：Liverpool care pathwayについて。がんサポートチームセミナー、大阪、2011年7月

里見絵理子（ファシリテーター） 大阪府立成人病センター地域緩和ケア研修会、大阪、2011年9月

里見絵理子（座長）：大阪緩和ケアチーム医療研究会、大阪、2011年10月

里見絵理子（座長）：症例検討会 第4回大阪緩和ケア連携カンファレンス、大阪、2011年11月

里見絵理子（座長）：第6回法円坂緩和ケアセミナー、大阪、2012年3月

里見絵理子（ファシリテーター）：熊本赤十字病院地域緩和ケア研修会、熊本、2012年3月

里見絵理子（ファシリテーター）：九州がんセンター地域緩和ケア研修会。福岡、2012年3月

B-6

伊藤麻里、由雄敏之、坂根貞嗣、田村猛、田中絵里、荒木学、岩崎竜一郎、末村茂樹、湯口清徳、長谷川裕子、榑原祐子、外山隆、中水流正一、石田永、三田英治：発症の初期像を確認しえたカボジ肉腫の1例。第87回日本消化器内視鏡学会近畿地方会、神戸、2011年10月

（座長）三嶋秀行：化学療法 大腸3。第19回日本消化器関連学会週間(JDDW2011)、福岡、2011年10月

（座長）三嶋秀行：外来化学療法の効率化と安全への取り組み。第73回日本臨床外科学会総会、東京、2011年11月

（司会）三嶋秀行：外科医が緩和ケアで悩まないために。大阪外科緩和セミナー、大阪、2011年5月

（座長）三嶋秀行：「主題II 示説II-6 StageIVの細分類」。第75回大腸癌研究会、東京、2011年7月

（司会）三嶋秀行：外来化学療法は今、、、。OGSG2011夏季セミナー、大阪、2011年8月

（パネルディスカッション司会）三嶋秀行：最新の切除不能大腸癌の治療戦略。アービタックス学術講演会2012大阪、大阪、2012年3月

B-7

小河原光正、木村剛、上平朝子、白阪琢磨：結核病床を有しないエイズ治療ブロック拠点病院におけるクオンティフェロンTB-2G(QFT)測定結果の検討。市民公開講座第13回白馬シンポジウム in 札幌、札幌、2011年5月

小河原光正：細胞検体をもれなく検査に出すには？。なにわ肺癌講演会、大阪、2011年10月